

空中給油機KC-130の鹿屋基地における訓練概要等に関する住民説明会概要

開催日時	平成27年7月12日(日) 10時00分～11時30分
開催場所	野里集落センター
出席者	92人(野里町79人、高須町3人、その他地区10人) ※報道関係者除く 防衛省、市政策推進課
主な意見等	<p>○ オスプレイの飛行ルートは、P3Cと同じような航路なのか、ヘリコプターのように広範囲に飛ぶのか。コンター図について詳しく知りたい。</p> <p>→ コンター図は、同じような音が出る地区を線で結んだもの、等圧線のようなものである。赤い線の内側は、住宅防音工事をしているという図である。今回の訓練で変わると予測が青い線で示している。今後、仮にご理解をいただいたら運用の状況を把握し、騒音度調査を行うことになる。</p> <p>オスプレイは、給油を受けるために飛来する、離着陸訓練をするために飛来するのではない。いずれにせよ鹿屋基地の管制に従うことになる。</p> <p>○ KC-130は訓練をする時、燃料を満載にして離着陸するのか。</p> <p>→ 岩国から飛行してくるので、満載でないと理解している。</p> <p>○ ローテーション展開がされるにあたって、現在の鹿屋基地の訓練はそのままなのか。</p> <p>→ 米軍の訓練が行われるにあっても、鹿屋基地の訓練に支障がない範疇と考えている。ただし、天候状況等で訓練に対して全く支障がないということではない。</p> <p>○ 基地の町でずっと育っている。沖縄の軽減負担は理解している。ただ、この訓練を受入れて、鹿屋市に対して何かメリットがあるのか。説明資料も分かりやすいが、スライドとかを使ってもらえればもっと理解を得られるのではないか。</p> <p>→ 今後ご理解をいただければ、再編交付金というものを交付することになる。これから説明の機会があれば、スライド等を使ってもっと分かりやすく説明させていただきたい。</p> <p>○ 防音工事について、今から20年前に家を建てたが、どうなのか。</p> <p>→ 昭和59年告示前から建っている家が住宅防音工事の対象となる。おそらく20年前となると告示後なので、対象とならない。今後、ご理解を得られたら、改めてしっかりと騒音度調査をしていくことになる。</p> <p>○ KC-130、CH-53、オスプレイは3機セットで飛んでくるのか。</p> <p>→ 最大で、KC-130は日中及び夜間にそれぞれ月8回程度、CH-53、オスプレイは給油を受けるために月2回程度飛んでくる。</p> <p>ただ、平素から沖縄から本土へ飛ぶ米軍の航空機が、鹿屋基地で給油を受けるために飛来することもある。これは今後もあると思われるので、KC-130が飛来していないのに、米軍機が飛来することもある。</p> <p>○ 訓練に来た海兵隊が鹿屋市内に出ることはないのか。</p> <p>→ 基本的に訓練が終われば、そのまま帰る。例えば、買い物等で鹿屋市内に出る可能性もある。また、天候不良等で戻れない場合、鹿屋基地内の宿舎に泊まることになる。どちらにしろ、長期滞在することはない。米海兵隊も非常に厳しい規律のもと訓練を行っている。</p> <p>○ 万が一、街中で事故が起きた場合の補償はどうか。</p> <p>→ 事故を起こさないということが一番であるが、事故が起きた場合の補償の問題については、日米地位協定の中で、まず日本が100%支払い、その後米側から75%日本側に支払われる。</p>

○ 着陸、離陸の時、滑走路へはどの方角を使用することになるのか。また、着陸と離陸の時、どちらの騒音が大きいのか。訓練の回数は、夜零時を過ぎた場合のカウントはどのようにするのか。

→ 滑走路については、風向きによってどちらも使用する。音については、大きなパワーを使う離陸時が大きくなる。

夜間訓練は、夜 10 時まで撤収も含めて帰投すると聞いている。

○ 鹿屋市と自衛隊との間で、訓練は 21 時まで、21 時から 6 時まで騒音を出すことはないとなっていたと思うが、なぜ 22 時までの撤収を含めた夜間訓練がされるのか。CH-53、オスプレイは離発着訓練をしないことは確定か？オスプレイが固定翼からヘリコプターモードに切り替わる地域を米側へ申入れすることはできるのか。

→ 基地の側で自主的に行っていた。個別のケースで

暗い中でやらなくてはいけない訓練もあり、夏冬によって暗くなる時間が違い、米側はそこを考慮して 10 時という時間を示したと考える。

CH-53、オスプレイは、離発着訓練はしない。オスプレイのモードについては、運用上のことで正確に申し上げられない。

○ 野里や田崎上空では、離発着時の高さは目視をする限り 100m もない。そうになると資料にあるような騒音ではないと思う。

→ 着陸時は、どうしても高度は低くなる。その時の音はどのくらいかなど測定しながら騒音コンターをひいていくことになる。

○ 国の財政が苦しい中で、5 ha を整備することにどれだけの予算が必要か。空中給油をする場合、2 台の航空機が飛んでくる。そうになると、騒音は資料にある数値の倍以上になると思うがどうか。

→ これから調査・設計に入ることになるので、具体的な数字は出せない。財政状況は厳しいが、安全確保のために是非やらせていただきたい。今回の訓練は地上で給油する訓練であるので、空中での給油ではない。2 台飛んでくることで、騒音は大きくはなるが、倍になることはない。

○ KC-130 とかを航空ショーで展示してみたらどうか。

→ 要望があれば、試験的に飛行するように米側と調整したい。エアーメモリアルはお祭りであるので、政策的なものは持ち込みたくない。

○ 心配しているのは騒音、安全性である。鹿屋基地が米軍基地化することを心配している。以前、鹿屋基地を民間航空として使えないかとの動きがあったが滑走路がいっぱいということで話が流れた。今回米軍の訓練 2,300 回を受入れるということは滑走路には余裕があったのか。

→ 米と自衛隊でお互いの最大条件で協議をしていくことになる。最大値同士がぶつくと問題が出ると思う。民間空港については、当時の議論はしっかりと把握していないが、民間の方の出入り、滑走路の使用等いろんな問題があると思われる。米軍の訓練はするが、ここはあくまでの海上自衛隊の鹿屋基地という認識である。

○ 米軍の訓練について、皆さん絶対反対ということではないと思う。町内会としてお願いしたいことは、防音対策で空調機が設置されているが、故障した場合の対応が遅いのでしっかり対応した欲しい。また、新しく家を建てた方にもなんらかの対応をして欲しい。立ち退きした跡地に植林がされているが、木々がほこってきている。防衛省も地域のために何かしら対応していただけたら、地域も我慢するところは我慢する。